

【今後実現したい重点施策】

100年のまちづくり 家族や友人とともに暮らし続けるために

(1)子育て環境と医療の充実

- ア 幼稚園・保育所の無料化継続とともに、家庭の保育に手当を創設し多様な子育てを支援
- イ 病児保育や一時保育の充実
- ウ 中学生の海外研修制度

(2)子育て(働きたい、でも預かってもらえない。そんな状況を解消します。)

- ア 家庭の保育に手当を支給、求職時の子ども預かり制度
- イ 一時預かりの定員増と自己負担軽減、民間サービスの補助制度と導入支援

(3)教育(家庭環境に関わらず、すべての子どもに学びの機会を提供します。教育水準の底上げをはかり、子育て世代に選ばれるまちにします。)

- ア 幼稚園・保育所における幼児教育プログラムの導入
- イ 市が独自に教員を配置し、基礎学力向上
- ウ 学校再編による複式学級の解消、子どもの能力を伸ばせる環境整備
- エ 教育基金の設立と、中学校の海外研修
- オ 給付型奨学金の創設

(4)インフラ(人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくり)

- ア 人口減少に伴う公共施設の統廃合と、将来負担の軽減